

公園の整備

予算額 4億1,706万円

ねらい

区内のみどりの機能拡充を図り、みどりの拠点的形成するため「都市計画公園・緑地の整備方針」に基づく優先整備区域の早期整備や、内陸部での新たなみどりの拠点となる公園・緑地の整備を進めます。

また、区民との協働による公園緑地の新設・拡張やリニューアル整備などの機会をとらえ、多様な世代の人が利用しやすく「地域の庭・広場」として地域に親しまれ、さらにはさまざまなスポーツなどを楽しめる健康増進の場としてなど、区民に愛される魅力ある公園づくりを進めます。



洗足池公園(池月橋)

水辺のレクリエーション拠点イメージ

事業概要

1 拠点公園・緑地の整備

(1) 多摩川台公園の増設及び改良

○園路バリアフリー・トイレ・遊具改修を行います。(工事・設計)

○公園隣接地(1,456㎡、多摩川台公園都市計画区域内)について、公園として増設整備します。(設計)

【多摩川台公園(バリアフリー改修)】



【多摩川台公園(増設予定地)】



**事業
概要**

(2) 洗足池公園の増設及び改良

- 地域から親しまれている洗足池にかかる木橋の三連太鼓橋「池月橋」が老朽化したため架替を行います。(工事)
- 洗足池図書館周辺について公園として増設整備します。(設計)
- 水質浄化施設を改修整備します。(設計)

【洗足池公園(池月橋)】



【洗足池公園(増設予定地)】



2 地域に根ざした公園・緑地の整備

(1) 仲蒲田公園の改良

蒲田駅東口の快適性・回遊性の向上のため、また東京オリンピック・パラリンピックなど国内外からの来訪者などにも、身近で涼しく過ごせる空間を設けます。また地域活動やイベントなどで活用できる魅力ある公園となるように、広場・歩道を改修整備いたします。併せて、公園全体のバリアフリー化にも取り組みます。(工事)

【完成イメージ】



(2) 新井宿児童公園の改良整備

障がい者総合サポートセンター「さぽーとぴあ」の新設や大森医師会館の改築に合わせ、これら施設の利用者や高齢者の憩いの場となり、地域住民にとっても快適で魅力ある場となるよう改修整備を進めます。併せて、バリアフリーや地域の安心・安全などに配慮した公園とします。(設計・工事)

【完成イメージ】



事業概要	<p>3 新スポーツ健康ゾーンの整備</p> <p>(1)大森ふるさとの浜辺公園休憩施設等の整備</p> <p>大森ふるさとの浜辺公園において、年代や性別を超えて誰でも水辺のスポーツやレクリエーションに親しめる拠点を創出するため、休憩施設や更衣室、日除け施設などを新たに整備します。(設計)</p> <p style="text-align: center;">【水辺のレクリエーション拠点イメージ】</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>																								
問合せ先	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%;">担当課</td> <td style="width: 15%;">(上記1・2)</td> <td style="width: 20%;">都市基盤整備部</td> <td style="width: 50%;">建設工事課</td> </tr> <tr> <td></td> <td>(上記3)</td> <td>都市基盤整備部</td> <td>臨海部基盤担当課</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">課長氏名</td> <td>(上記1・2)</td> <td>石井 一雄</td> <td>電話 6428-6280</td> </tr> <tr> <td>(上記3)</td> <td>瀬戸 隆司</td> <td>電話 5744-1336</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">(上記1・2)</td> <td>森下 太郎</td> <td>電話 6428-6285</td> </tr> <tr> <td>吉川 貴晃</td> <td></td> </tr> <tr> <td>担当者氏名</td> <td>(上記3)</td> <td>石橋 克己</td> <td>電話 5744-1678</td> </tr> </table>	担当課	(上記1・2)	都市基盤整備部	建設工事課		(上記3)	都市基盤整備部	臨海部基盤担当課	課長氏名	(上記1・2)	石井 一雄	電話 6428-6280	(上記3)	瀬戸 隆司	電話 5744-1336	(上記1・2)	森下 太郎	電話 6428-6285	吉川 貴晃		担当者氏名	(上記3)	石橋 克己	電話 5744-1678
担当課	(上記1・2)	都市基盤整備部	建設工事課																						
	(上記3)	都市基盤整備部	臨海部基盤担当課																						
課長氏名	(上記1・2)	石井 一雄	電話 6428-6280																						
	(上記3)	瀬戸 隆司	電話 5744-1336																						
	(上記1・2)	森下 太郎	電話 6428-6285																						
		吉川 貴晃																							
担当者氏名	(上記3)	石橋 克己	電話 5744-1678																						

(仮称) 区民サービス及び移動等円滑化に関する

ガイドラインの策定

新規

予算額 1, 177万円

ねらい

誰もが自分らしく健康で生きがいをもって暮らせる「ユニバーサルデザインのまちづくり」を推進するため、ソフト及びハード分野を一体としたガイドラインを策定します。



ユニバーサルデザインのまちづくり イメージ

事業概要

区では『おおた未来プラン 10 年（後期）』において「誰もが自分らしく、健康で生きがいをもって暮らせるまち」を目標に、「ユニバーサルデザインのまちづくり」を進めます。

2020 年東京オリンピック・パラリンピックの開催や「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律（障害者差別解消法）」の施行も視野に入れた、「誰にも優しいサービスと情報提供」及び「誰もが安心して快適に過ごせるまちづくり」を進めるため、ソフト及びハード分野を一体としたガイドラインを平成 27、28 年度の 2 年かけて策定します。

なお、策定にあたってはアンケート等により課題の洗い出しを行うほか、区民団体及び事業者等と協働し、区民意見の反映に努めます。

1 ソフト分野「区民サービスガイドライン」の策定 574 万円

* 接遇、情報アクセス、視覚情報などを中心にガイドラインを整備し、区役所が提供するサービスの改善を図ります。

事業概要	<p>2 ハード分野「移動等円滑化に関するガイドライン」の策定 603万円</p> <p>*街なかのサインや視覚障害者誘導用ブロックなどハードに関する基準等を1つに取りまとめ、施設整備の連続性、統一性を図ります。</p>																		
問合せ先	<table border="1"> <tr> <td colspan="3" data-bbox="327 436 1396 481">(上記1) 担当課 福祉部 福祉管理課</td> </tr> <tr> <td data-bbox="327 481 614 526">課長氏名</td> <td data-bbox="614 481 853 526">今岡 正道</td> <td data-bbox="853 481 1396 526">電話 5744-1241</td> </tr> <tr> <td data-bbox="327 526 614 571">担当者氏名</td> <td data-bbox="614 526 853 571">立花 博一</td> <td data-bbox="853 526 1396 571">電話 5744-1244</td> </tr> <tr> <td colspan="3" data-bbox="327 571 1396 616">(上記2) 担当課 まちづくり推進部 まちづくり管理課</td> </tr> <tr> <td data-bbox="327 616 614 660">課長氏名</td> <td data-bbox="614 616 853 660">黒澤 明</td> <td data-bbox="853 616 1396 660">電話 5744-1331</td> </tr> <tr> <td data-bbox="327 660 614 705">担当者氏名</td> <td data-bbox="614 660 853 705">渡部 正美</td> <td data-bbox="853 660 1396 705">電話 5744-1332</td> </tr> </table>	(上記1) 担当課 福祉部 福祉管理課			課長氏名	今岡 正道	電話 5744-1241	担当者氏名	立花 博一	電話 5744-1244	(上記2) 担当課 まちづくり推進部 まちづくり管理課			課長氏名	黒澤 明	電話 5744-1331	担当者氏名	渡部 正美	電話 5744-1332
(上記1) 担当課 福祉部 福祉管理課																			
課長氏名	今岡 正道	電話 5744-1241																	
担当者氏名	立花 博一	電話 5744-1244																	
(上記2) 担当課 まちづくり推進部 まちづくり管理課																			
課長氏名	黒澤 明	電話 5744-1331																	
担当者氏名	渡部 正美	電話 5744-1332																	

京急関連駅周辺のまちづくり

予算額 58億824万円

ねらい

京浜急行線連続立体交差事業を契機として、京急蒲田・糀谷・雑色の3駅周辺地区において、駅前環境や防災機能の向上を図り、地域の皆様とともに安全・安心のまちづくりの取り組みを進めます。



京急蒲田駅西口再開発イメージ図



糀谷駅前再開発イメージ図

事業概要	<p>1 京急蒲田駅西口周辺地区 42億8,041万円</p> <p>駅前地区では、地元地権者が組織する市街地再開発組合（平成23年3月設立認可）の事業を支援します。再開発組合は、平成27年度竣工に向け、駅前広場・再開発ビル建設工事を行います。</p> <p>また、京急蒲田西口地区ランドデザインに沿ったまちづくりでは、まちづくり研究会や地権者団体の活動を支援します。</p>
	<p>2 糀谷駅周辺地区 15億2,021万円</p> <p>地元地権者が組織する市街地再開発組合（平成24年7月設立認可）の事業を支援します。再開発組合としては、平成27年度は、平成26年度に引き続き駅前広場・再開発ビル建設工事を行います。</p>
	<p>3 雑色駅周辺地区 761万円</p> <p>地元地権者が組織するまちづくり研究会の活動を支援します。再開発事業の実現化に向け、地元住民との話し合いを進めていきます。</p>
問合せ先	<p>担当課 連続立体事業本部 連続立体事業課</p>
	<p>課長氏名 岡田 誠 電話 5744-1351</p>
	<p>担当者氏名 吉田 隆夫 電話 5744-1356</p>

蒲田駅周辺地区の整備

予算額 1億6,057万円

ねらい

平成25年度に策定した「蒲田駅周辺再編プロジェクト」の具体化に向けて、蒲田駅東西駅前広場や東口地下自転車駐車場の初動期整備に向けた取り組みを進めるとともに、駅周辺街区の関係地権者による勉強会や組織運営の支援を行い、老朽化した建物の建替えや更新の促進を図り、環境にやさしく快適で更なる活力を生み出す都市の再生を図ります。

このうち駅前広場の初動期整備として、西口については平成27年1月に策定した「蒲田駅西口駅前広場 初動期整備デザイン基本プラン」の具体化に向け、駅前広場南側の円形段差のフラット化や北側の歩行者動線の改善など歩行者環境の充実をめざして実施設計を行うとともに、一部整備工事に着手します。東口については、駅前広場や駅前広場地下自転車駐車場の都市計画決定手続きを進めて事業化を促進させていくとともに、初動期事業の推進を図るため、地下自転車駐車場の予備設計を行います。



蒲田西口駅前広場整備イメージ

事業概要	1 蒲田駅周辺地区の整備(計画の推進) 3,525万円 (1) 蒲田駅周辺再編プロジェクトの推進 東口駅前広場等の都市計画関連手続き 関係者間協議 (2) 蒲田駅周辺に係る地権者支援 蒲田駅周辺まちづくり検討支援 地権者意向調査等 (3) 蒲田都市づくり推進会議開催 等
	2 蒲田駅前広場の再生整備(設計・工事) 1億2,532万円 (1) 蒲田駅西口駅前広場実施設計委託 駅前広場の詳細設計 蒲田駅西口駅前広場検討部会支援 等 (2) 蒲田駅西口駅前広場整備工事 交通島改修工事

事業概要	(3) 蒲田駅東口駅前広場整備設計委託 地下駐輪場予備設計 測量・地質調査 関係機関協議 等
問合せ先	担当課 (上記1) まちづくり推進部 都市開発課 (上記2) 都市基盤整備部 建設工事課 課長氏名 (上記1) 保下 誠 電話 5 7 4 4 - 1 3 4 1 (上記2) 石井 一雄 電話 6 4 2 8 - 6 2 8 0 担当者氏名 (上記1) 近江 淳一 電話 5 7 4 4 - 1 3 3 9 (上記2) 中山 岳人 電話 6 4 2 8 - 6 2 8 8

大森駅周辺地区の整備

予算額 4,798万円

ねらい

区を中心拠点として、ランドデザインに基づくまちづくりに取り組んでいる大森駅周辺について、都市計画道路補助28号線（池上通り）の整備をはじめ、快適な歩行者空間と安全な交通処理機能を兼ね備えた駅前空間の創出や、沿道建物の機能更新等による総合的なまちづくりを、地域住民とともに進めていきます。



バスやタクシー、通過車両が交錯する大森駅西口（池上通り）

事業概要	<p>1 大森駅周辺地区まちづくり検討支援業務委託</p> <p>大森駅周辺において、地権者組織等によるまちづくり活動を支援するとともに、建替え等におけるルール（地区計画等）の検討を行います。</p>
	<p>2 大森駅西側駅周辺の都市基盤施設整備計画検討業務委託</p> <p>バスやタクシー、通過交通車両が混在し、駅周辺での渋滞が大きな課題となっている補助28号線（池上通り）について、事業化に向けた予備設計や現況測量等を行います。</p> <p>また、区民の皆様にとって重要な交通手段である“自転車”の利用環境を、道路整備にあわせて改善するため、自転車の利用実態調査を行うとともに、自転車等駐車場基本計画を検討します。</p> <p>これらを踏まえ、都市計画道路である補助28号線の整備計画として取りまとめ、関係機関との協議を行います。</p>
問合せ先	<p>担当課 まちづくり推進部 都市開発課</p>
	<p>課長氏名 大木 康宏 電話 5744-1454</p>
	<p>担当者氏名 松島 愛一郎 電話 5744-1339</p>

新空港線の整備促進事業

予算額 5億1,925万円

ねらい

J R・東急蒲田駅と京急蒲田駅間のわずか 800m を結ぶことによって、区民の移動利便性の向上、都心や副都心や首都圏の各都市と羽田空港との交通アクセス機能が飛躍的に高まる「新空港線」の早期実現をめざします。



新空港線

事業概要	<p>新空港線は、運輸政策審議会答申第 18 号において、平成 27 年までに整備着手することが適当である路線に位置づけられています。</p> <p>新空港線整備は、J R・東急蒲田駅と京急蒲田駅間のわずか 800m を結ぶことによって、東急東横線や東京メトロ副都心線との相互直通運転により、羽田空港と区内各地はもちろん、都心・副都心方面や横浜や川越方面など東京圏全体の交通ネットワーク向上に大きく貢献し、利用者の移動利便性も大きく向上するとともに、災害時や緊急時の迂回ルートとしての役割も資することから、国益にも大きく貢献する重要な使命を担っている路線です。</p> <p>世界で一番ビジネスのしやすい街「東京」の都市環境づくりに大きく寄与する新空港線整備の早期実現をめざし、取り組みを更に進めます。</p>
	<p>1 新空港線の整備促進事業 1,599 万円</p> <p>これまでの調査・研究を踏まえ、整備計画案の作成に向けた検討を更に進めます。あわせて、新空港線整備促進区民協議会と連携し、区民の整備促進気運をより一層高めるとともに、関係者間の合意形成が得られるように全力で取り組みます。</p> <p>2 新空港線整備資金積立基金 5億327万円</p> <p>新空港線の工事着手準備資金として、平成 24 年度から行っている積立基金について、平成 27 年度も引き続き 5 億円の積み立てを行います。</p>
問合せ先	<p>担当課 まちづくり推進部 まちづくり管理課</p>
	<p>課長氏名 山田 誉 電話 5744-1691</p>
	<p>担当者氏名 榊原 健司 電話 5744-1303</p> <p>大見 真吾</p>

自転車の利用環境整備事業

新規

予算額 10億6,454万円

ねらい

地域交通ネットワークの一つとしての自転車交通に関して、自転車駐車場の整備や、自転車レーンなどの走行環境の整備、利用に関する教育・啓発を実施することにより、快適な交通ネットワークの整備、安全で円滑に移動できるまちづくりの実現をめざします。



事業概要

1 大森町駅自転車駐車場等整備工事（総収容台数約4,800台）

京浜急行線の連続立体交差化により生じる高架橋下に、大森町駅（1か所約310台）・梅屋敷駅（1か所約480台）・京急蒲田駅（2か所約1,250台）・雑色駅（1か所約1,390台）・糎谷駅（1か所約840台）等の自転車駐車場を整備します。オープンは、平成28年度中を予定しています。

2 東嶺公園内自転車駐車場整備工事

久が原駅周辺の自転車駐車場不足を解消するため、東嶺公園外周にある大谷石擁壁の改修に併せて、駅利用の自転車と共有できる公園附属自転車駐車場の設計・整備の準備を進めます。（収容台数：自転車150台程度）

3 自転車ネットワーク実施計画策定調査業務委託

自転車の走行環境整備を効果的かつ効率的に実施するため、「自転車等利用総合基本計画に基づく整備計画」でネットワーク候補や先行整備路線として示されている路線などにつき、道路交通量や住民アンケート等の実態把握調査を実施したうえ、自転車ネットワーク実施計画を策定します。

4 自転車走行環境試行整備

「自転車等利用総合基本計画に基づく整備計画」でネットワーク候補や先行整備地域として示されている地域のうち、JR大森駅周辺において、上記3の実施計画策定と同時並行で試行整備を実施します。池上駅周辺での整備につき、2か所目と

事業概要	<p>なる区の試行整備により、自転車の車道左端走行の区民への啓発をさらに推進するとともに、実施計画策定に活用します。</p> <p>5 自転車押し歩き運動啓発委託</p> <p>歩行者が多い商店街等では、自転車に乗車したまま通行すると、歩行者に危険を及ぼすことが多くなります。自転車から降りて、押し歩いていただくよう呼びかける運動啓発事業を実施し、歩行者の安全を確保します。平成 27 年度は、JR 蒲田駅東西口ロータリーと近隣商店街の押し歩き推進ゾーンで指導員を配置します。</p>																												
問合せ先	<table border="1"> <tr> <td>担当課</td> <td colspan="3">都市基盤管理課・調布まちなみ維持課・蒲田まちなみ維持課</td> </tr> <tr> <td>課長氏名</td> <td>(上記 1・3・4)</td> <td>明立 周二</td> <td>電話 5 7 4 4 - 1 6 8 9</td> </tr> <tr> <td></td> <td>(上記 2)</td> <td>吉川 紀代司</td> <td>電話 3 7 2 6 - 4 3 1 9</td> </tr> <tr> <td></td> <td>(上記 5)</td> <td>久保 輝幸</td> <td>電話 5 7 1 3 - 2 0 0 5</td> </tr> <tr> <td>担当者氏名</td> <td>(上記 1・3・4)</td> <td>中野 朝久</td> <td>電話 5 7 4 4 - 1 3 1 5</td> </tr> <tr> <td></td> <td>(上記 2)</td> <td>土屋 晃</td> <td>電話 3 7 2 6 - 4 3 0 8</td> </tr> <tr> <td></td> <td>(上記 5)</td> <td>貝塚 悟</td> <td>電話 5 7 1 3 - 2 0 0 4</td> </tr> </table>	担当課	都市基盤管理課・調布まちなみ維持課・蒲田まちなみ維持課			課長氏名	(上記 1・3・4)	明立 周二	電話 5 7 4 4 - 1 6 8 9		(上記 2)	吉川 紀代司	電話 3 7 2 6 - 4 3 1 9		(上記 5)	久保 輝幸	電話 5 7 1 3 - 2 0 0 5	担当者氏名	(上記 1・3・4)	中野 朝久	電話 5 7 4 4 - 1 3 1 5		(上記 2)	土屋 晃	電話 3 7 2 6 - 4 3 0 8		(上記 5)	貝塚 悟	電話 5 7 1 3 - 2 0 0 4
担当課	都市基盤管理課・調布まちなみ維持課・蒲田まちなみ維持課																												
課長氏名	(上記 1・3・4)	明立 周二	電話 5 7 4 4 - 1 6 8 9																										
	(上記 2)	吉川 紀代司	電話 3 7 2 6 - 4 3 1 9																										
	(上記 5)	久保 輝幸	電話 5 7 1 3 - 2 0 0 5																										
担当者氏名	(上記 1・3・4)	中野 朝久	電話 5 7 4 4 - 1 3 1 5																										
	(上記 2)	土屋 晃	電話 3 7 2 6 - 4 3 0 8																										
	(上記 5)	貝塚 悟	電話 5 7 1 3 - 2 0 0 4																										

円滑で安心・安全な道路づくり

新規

予算額 1, 572万円

ねらい

地域の安心と安全を確保するため、老朽化が進む都市基盤施設の延命化や計画的な維持管理が求められており、道路などの維持管理手法を対症療法型から予防保全型へ転換する必要があります。道路維持修繕計画を策定し、効率的な道路維持修繕管理を進めていきます。また、道路幅員の狭い生活道路の路面下空洞調査を行い、安心・安全な道路づくりを推進します。



路面下空洞調査の状況（平成24・25年度調査事例）

事業概要	<p>1 道路維持修繕計画策定委託</p> <p>平成26年度に実施した『路面性状調査委託』の結果を基に、道路舗装の健全度と合理的な維持修繕管理を考慮した計画を策定します。</p> <p>2 路面下空洞調査委託</p> <p>区道総延長約769.0kmのうち、平成24年度と平成25年度で合わせて215.3km(道路障害物除去路線、主要路線)の路面下空洞調査を終えました。残りの区道の道路幅員の狭い生活道路553.7kmを対象に、近年開発された小型空洞探査車を用いた調査を行います。しかし、小型空洞探査車の調査実績が少ないため、路線延長20kmの試験調査施工を行い、性能や精度等を確認すると共に事業を推進します。</p>
	<p>担当課 都市基盤整備部 都市基盤管理課</p> <p>課長氏名 明立 周二 電話 5744-1689</p> <p>担当者氏名 神谷 文雄 電話 5744-1304</p>
問合せ先	

大森駅東口バリアフリー化に係る設計

予算額 1,000万円

ねらい

バリアフリー法に基づく公共交通機関のバリアフリー化に関する国の指針である「移動等円滑化整備ガイドライン」の改訂（平成25年6月）及び区民要望等を踏まえ、大森駅東口のバリアフリー化を一層推進します。



大森駅

事業概要	<p>区では、大田区移動等円滑化推進計画「おおもり街なか“すいすい”プラン」に基づき大森駅周辺地区のバリアフリー化に取り組んでおり、プランに記した課題の解決に向けて、平成26年度に大森駅東口エレベーター設置について、計画策定に向けた調査、検討を行いました。</p> <p>平成27年度は、エレベーターとともに、更新時期の到来した既存上りエスカレーターの整備と下りエスカレーターの新設も併せ、関係者と協議しながら、その具体化を図ります。</p>		
	担当課	まちづくり推進部	まちづくり管理課
問合せ先	課長氏名	黒澤 明	電話 5744-1331
	担当者氏名	渡部 正美	電話 5744-1332

コミュニティサイクル実施に関する基礎調査

新規

予算 907万円

ねらい

コミュニティサイクルは、「大田区自転車等利用総合基本計画」（平成23年3月策定）において、環境負荷の軽減・放置自転車の縮減・新たな区内交通手段の提供・地域活性化等の効果が期待できる事業として、調査や検討を行うこととされています。平成27年度より基礎調査に着手し、地域交通ネットワークの新たな交通手段の提供をめざします。



千代田区コミュニティサイクル実証実験「ちよくる」神田駿河台下サイクルポート

事業概要	コミュニティサイクル実施に関する基礎調査委託			
	<p>コミュニティサイクルの導入対象エリアは最終的には大田区全域を予定していますが、初期の導入はJR大森駅とJR蒲田駅周辺を計画しています。</p> <p>本基礎調査は初期導入を図るうえで必要な、区民等の移動実態調査・利用ニーズの把握・区民や事業者へのアンケートなどを実施し、運用システムや管理方法を検討します。</p> <p>検討後、平成28年度当初から、大森・蒲田地域での試行を実施する予定です。</p>			
問合せ先	担当課	都市基盤整備部 都市基盤管理課		
	課長氏名	明立 周二	電話	5744-1689
	担当者氏名	中野 朝久	電話	5744-1315

臨海部散策路の整備

予算額 6,081万円

ねらい

羽田空港を臨む空港臨海部に、多くの人々が憩い、みどり豊かで水辺に親しめる拠点公園や海辺沿いの散策路などを整備していきます。

空港臨海部に水と緑の拠点を形成し、散策路整備によるネットワーク化を進めることで、国際都市おおたにふさわしい海辺の景観や潤いとにぎわいのあるまちづくりを進めていきます。



海辺の散策路の整備例（森ヶ崎海岸公園）

事業概要	海辺の散策路及び公共溝渠の整備		
	海辺を感じながら誰もが憩い安らげる親水緑道となるように散策ルートと接する公共溝渠に関し、東京都との共同事業として、縮切護岸の設計や付帯施設の工事等を進めます。		
	公共溝渠縮切護岸設計 南前堀整備工事	大森東五丁目13番先（貴船堀） 羽田旭町10番先	
問合せ先	担当課	都市基盤整備部	臨海部基盤担当課
	課長氏名	瀬戸 隆司	電話 5744-1336
	担当者氏名	石橋 克己	電話 5744-1678

自治会連合会の活動への助成拡大

予算額 1,586万円

ねらい

地域力の向上を目指して、地域活動の活性化と身近な地域課題解決に取り組んでいくために、自治会・町会の自主的、自立的活動を支援します。

また、新たに各地区連合会が町会同士で連携して取り組む広域的な諸事業に対して支援していきます。



18色の緑づくり



地域防災訓練

事業概要	身近な地域課題(子供の見守り、元気高齢者対策、ふれあいまつり等)に取り組む自治会・町会を応援し、地域力の向上と会員拡大を支援します。		
	1 対象団体、助成金額（限度額） (1) 単一の自治会・町会 10万円を限度に助成対象経費の全額を助成します。 平成26年度～平成28年度の3か年で1回申請が可能です。 (2) 各地区自治会・町会連合会 【平成27年度から新たに助成】 39万円～63万円※を限度に助成対象経費の全額を助成します。 ※地区割30万円+町会割(1万円×町会数)+人口割(4～16万円)		
問合せ先	2 対象事業 自治会・町会が中心となって地域の区民活動団体等と協力して行う下記の事業に助成します。 (1)地域の防災・防犯を高める事業 (2)コミュニティの形成に役立つ事業 (3)地域の福祉力を高める事業		
	担当課	地域力推進部	地域力推進課
	課長氏名	柏原 順史	電話 5744-1221
	担当者氏名	藤塚 悦子	電話 5744-1224

中央防波堤埋立地に係る調査

予算額 113万円

ねらい

中央防波堤埋立地を含めた空港臨海部については、平成32(2020)年東京オリンピック・パラリンピック大会の開催を視野に入れ、首都東京の国際競争力を強化する視点を踏まえて土地利用計画を立案することが求められています。このためには、中央防波堤埋立地の帰属問題の適切な解決が必要となるため、これに向けた必要な調査を行います。



海苔舟



海苔乾し場

事業概要	有識者・研究者の助言 113万円 中央防波堤埋立地のある場所は、かつて海苔の漁場として、大田区民の生産と生活の場でした。こうした歴史的背景の正しい認識を踏まえ、当区の主張・立証を構築していく必要があります。このために、当時の海苔漁業者ほか有識者からの知見を収集・調査します。
	担当課 区長政策室 政策課 課長氏名 小貫 勝 電話 5744-1160 担当者氏名 堀江 正樹 電話 5744-1189
問合せ先	

大田区公共施設再配置方針の策定

予算額 1,042万円

ねらい

区民サービスの水準を維持向上させ、ライフサイクルコストの軽減を図る取り組み（公共施設マネジメント）を推進するため、公共施設の再配置に関する方針を策定します。方針のもと、公共施設の改築や再配置を進めることにより、公共施設の総量削減や施設に係る経費の最小化を図ります。



改築前の六郷特別出張所



複合施設としてオープンした六郷地域力推進センター

事業概要	<p>公共施設の改築等においては、施設が抱える課題、利用状況、少子高齢化や生産年齢人口の構成変化を踏まえた将来需要等に基づく検証や、民間の力を積極的に導入するなど、施設を利用する方の立場に立った最適な配置を行うことが必要です。</p> <p>区は平成 26 年度に策定する「大田区公共施設白書」を基礎データとして、将来を見据えた施設配置を行うため、公共施設の再配置に関する方針を策定します。この再配置方針の策定にあたっては、区民の意見を広く聴く機会を設けます。</p>									
問合せ先	<table border="1"> <tr> <td>担当課</td> <td>計画財政部</td> <td>計画財政課</td> </tr> <tr> <td>課長氏名</td> <td>杉山 良樹</td> <td>電話 5744-1127</td> </tr> <tr> <td>担当者氏名</td> <td>雲藤 和哉</td> <td>電話 5744-1124</td> </tr> </table>	担当課	計画財政部	計画財政課	課長氏名	杉山 良樹	電話 5744-1127	担当者氏名	雲藤 和哉	電話 5744-1124
担当課	計画財政部	計画財政課								
課長氏名	杉山 良樹	電話 5744-1127								
担当者氏名	雲藤 和哉	電話 5744-1124								